

Q. 看護師になってからやらかした最大の失敗は？

A. 昼間の勤務が終わって帰宅する途中で転倒し顔面を強打！前歯が1本折れ、鼻の下はチョコ髭のような擦り傷…。唇は腫れあがり、たらこ状態…。マスクをして、その日の夜勤へ。息を吸うだけで歯にしみる。唇が腫れていて話しにくい。のどが渴いて、水分補給しようと…マスクを外して、仲間が大爆笑！！



高山赤十字病院で働く

先輩ってこんな人！

成長して得た気持ちの余裕が
充実感と目標の源に



【新人1年目】N・Hさん

入 職当初は、不安と緊張を抱え、業務を覚えることに必死でした。しかし、プリセプターさんをはじめ病棟の先輩方のご指導のおかげで、少しずつできることも増え、成長でき、やりがいも感じられるようになってきました。気持ちに余裕を持つことができるようになったことで、患者さんとの関りも濃いものになり充実感を得ることができています。今後より一層看護師として成長し、個性に応じた看護を提案できるようにしていきたいです。

自分が救われたように
自分も誰かの力になれる



【入職3年目】A・Nさん

現 在3年目として、まだわからないこと・不安なことがあります。そんな時は病棟看護師にわからないことを聞いたり、不安なことを相談します。経験年数が上の方に、相談しにくいと感じることもありますが、そんな時に年の近い看護師の方が声をかけてくださり、失敗を乗り越えることができました。3年目となり、1.2年目の看護師がいます。1.2年目の看護師が仕事でわからないこと・不安なことがあった時にはすぐに声をかけるように意識しています。自分が声をかけてもらい救われたように、少しでも不安が少なくなればと思いをかけるようにしています。

新人さんの姿は、私たちにとても
良い刺激となり学びとなります。



【プリセプター/入職4年目】K・Tさん

新 人は日々、不安と緊張の中で大変だと思います。病棟では新人さんに対してプリセプターがつき、新人教育を行っています。辛いことや悩み、分からないことがあるのは当たり前なので、何でもプリセプターや病棟スタッフに相談してください。新人さんの看護を見て病棟スタッフ全体にいい刺激を与えることもあり、私自身プリセプターを経験し学ぶことは多々ありました。プリセプターを始め、病棟スタッフと共に成長していきたいです。

一番身近な存在として
一緒に成長していきたい。



【プリセプター/入職5年目】A・Sさん

高 山日赤病院に入職5年が経ちました。入職当初は覚えることも多く、不安や緊張で戸惑いも多い毎日でした。今までは先輩看護師の指導のもと看護を行ってききましたが、5年目を迎えた今年は、プリセプターという新人の指導者になる立場を任せられました。実際に指導することを経験し、教えることの難しさを日々痛感しています。その反面、新人から学ぶことも多く、自身の知識・技術・態度を見直す良い機会となりました。今後も一番身近な存在として寄り添い、一緒に成長していけるよう務めていきたいです。

採用TOPへ戻る